

③ 地域の資源を生かした地元産業の活性化 —食を軸とする淡路島全体の魅力向上—

◆瀬黒岩水仙郷リニューアル事業 1億90万円

観光拠点としてリニューアルするため、園地整備の基本構想や設計、また水仙開花促進の調査研究や土壌改良工事等を実施します。



水産物PR・販路拡大事業 400万円

市内漁協と地域おこし協力隊により、水産物の販売力強化やPRなどに取り組み、地域産業の活性化を図ります。

大鳴門橋周辺環境整備事業 4,400万円

大鳴門橋の自転車道整備計画に合わせ、淡路島南ICから道の駅うずしお（鳴門みさき荘）までの周辺整備のため、令和3年度は設計の一部を実施します。



継続事業

新規就農者支援事業、担い手倍増経営体育成事業、漁場改良造成事業、にぎわいづくり事業、鳴門の渦潮世界遺産登録推進事業等

④ 安全・安心のまちづくり —防災体制の充実—

◆浮体式多目的公園改修事業 1,240万円

老朽化診断、対策工事費算定を実施し、あり方検討会で存続が決定した浮体式多目的公園（メガフロート）の老朽化・津波対策工事の実施設計を行います。



◆ハザードマップ更新事業 2,430万円

地域住民等の防災意識高揚、災害時の避難率向上のためハザードマップを更新します。また、ウェブ版ハザードマップも整備します。

継続事業

治水総合対策事業、災害用避難経路の整備、交通安全施設等の充実、空家対策事業、火葬場建設事業、下水放流施設建設事業、道路橋梁長寿命化事業等

⑤ 「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり —市民と行政による協働の推進—

◆シティプロモーション推進事業 1,000万円

総務省の「地域活性化起業人制度」を活用して外部人材を招き、組織横断的なシティプロモーションの強化を目的に広報戦略の構築、宣伝手法などの確立を図ります。

◆マイナンバーカード普及促進事業 4,425万円

多機能化が見込まれるマイナンバーカードの普及を一層促進し、便利で暮らしやすいデジタル社会を推進します。

◆第2次南あわじ市総合計画後期基本計画の策定 910万円

令和4年度～令和8年度を計画期間とし、新たな社会情勢や行政課題を踏まえ、基本構想を実現するための取り組みや達成度を定めた計画を策定します。

継続事業

地域づくりチャレンジ事業への補助、業務改革プロジェクト、協働のまちづくり、地域コミュニティの支援等

新型コロナウイルス感染症緊急総合対策事業（第4次）

1. 安全・安心確保の主な取り組み 3億8,541万円

新型コロナウイルスワクチン接種、避難所の感染拡大防止、生活相談窓口の拡充、島外で暮らす若者の応援等

2. ポストコロナに対応した社会経済基盤強化の主な取り組み 4億550万円

高齢者等のデジタル利用推進、市内消費喚起事業、事業者感染症予防対策の高度化、伝統芸能等のデジタル配信等

3. 新たな価値観で生じた需要獲得の主な取り組み 3,949万円

サテライトオフィス等の整備、長期滞在型の観光支援、体験型観光コーディネーターの育成等

令和3年度は南あわじ市の政策の柱である「五つの行動」を推進し、地域全体が若者のチャレンジや子育てをサポートし、若者の成長・活躍を楽しみながら見守る地域社会を構築することで、若者たちに選ばれる「子育ての喜びが見えるまち」の実現をめざします。

また、新型コロナウイルス感染症緊急総合対策として感染拡大防止の取り組みを継続し、地域経済の早期回復・安定化を図りながら、新たな価値観で生じた需要の取り込みに対応するための事業を実施します。

※写真付で事業概要をわかりやすく説明した「事業概要説明書」を市ホームページに掲載しています。二次元コードからご覧ください



「五つの行動」

① 超高齢化社会の克服

② 子育て環境の向上と教育の充実

③ 地域の資源を生かした地元産業の活性化

④ 安全・安心のまちづくり

⑤ 「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり

◆は新規事業

① 超高齢化社会の克服 —仕事・社会貢献活動の継続による健康寿命の伸長—

◆高齢者等元気活躍推進事業 1,480万円

シニア世代等の活動意欲と人手不足で悩む事業者等のマッチングによる活動をポイント化した「おもいやりポイント制度」と、働きやすい環境整備を進める「働くシニア応援プロジェクト」を推進し「生涯活躍社会」の実現をめざします。



◆移住者支援事業補助金 1,000万円

定住の意思を持ち島外から移住する若者・子育て世代に対し、民間賃貸住宅の居住にかかる初期費用等を支援し、移住・定住を促進します。

継続事業

町ぐるみ健診事業、風しん・定期予防接種事業、福祉医療費の助成、障害者相談支援体制の充実、マイホーム取得費等の助成等

② 子育て環境の向上と教育の充実 —若者に選ばれるまちづくり—

◆読書活動推進員配置事業 222万円

読解力の基礎となる「ことばの力」を育成するため、市立図書館に「読書活動推進員」を配置し、読解力の向上を支援します。



◆GIGAスクール構想事業（ICT環境整備事業） 9,161万円

令和2年度に小中学校の児童生徒に1人1台導入したタブレット端末に加え、新たに電子黒板を導入し論理的思考能力と情報活用能力の向上をめざします。



◆教育センター整備事業 610万円

「学ぶ楽しさ日本一」の拠点となる施設として旧三原志知小学校施設を利用し、多種多様な教育課題の解決を図る施設を整備するための実施設計を行います。

継続事業

コアカリキュラム開発事業、子どもの遊び場づくり事業、中学生までの医療費無償化、ファミリー・サポート・センター事業、淡路人形浄瑠璃の伝承等